

PFAS汚染から市民を守るための請願署名

(請願趣旨)

○次々明らかになる PFAS による健康への影響

- ・母体の血中濃度と赤ちゃんの染色体異常・低出生体重児や免疫力低下
- ・肺が硬く縮んで、呼吸困難となる間質性肺疾患
- ・甲状腺がん腎臓がんなど

○PFAS は長く体内に残り続ける

2023・24 年の二回の血液検査結果は、浄水器を付けるなどこれ以上体内に PFAS を取り込まない対策をしても、1年経っても概ね大きな変化は見られなかったことから明らかです。

○小児 20 名を含む検査参加者全員の血中に PFAS 検出。一歳児の血中からも PFAS 検出。

しかも三井水源地域の検査小児の約 8割が PFAS 4種 (PFOS・PFOA・PFHxS・PFNA) 合計で 米国アカデミーの規制値 20 ng/mL 超えという深刻な事態が明らかになりました。

PFAS対策の要は、もうこれ以上 PFAS を取り込まないことです。欧米諸国では事実上 PFAS「ゼロ」を目指し、規制を強めています。

各務原市も水道水対策が進められていますが、50 ng/L を下がったから安全とは言いきれません。水道水に PFAS は入っており、体内に取り込まれて、蓄積し続けているのです。子ども達の健康や発育を守るために、直ちに PFAS 摂取を減らすことはできません。これ以上 PFAS 汚染が拡大しない様に、汚染源を特定し対応する必要があります。その為に次のことを求めます

(請願事項)

- 1, PFAS汚染原を特定し、市民に知らせること。
- 2, 小中学校等に浄水器の設置を求めます。
- 3, PFAS対策の家庭用浄水器の維持負担、水購入の負担に対する補助を、市に求めます。
- 4, 希望する市民が血液検査を公費で受けられるよう、市に求めます。

| 氏名 | 住所 |
|----|----|
| | 市 |
| | 市 |
| | 市 |
| | 市 |
| | 市 |

★姓や住所に「々」「同上」「〃」など省略せずにご記入ください。

2025年
月

「PFAS 汚染から
いのちの水を守る各務原市民の会」
問合せ先: 今尾明美
各務原市蘇原月丘町 3-26-11
電話 058-383-3674

「環境・みらい・市政を考える市民の会」
問合せ先: 杉山元則
各務原市蘇原六軒町
電話